

自己実現への道

第35回 - 一度しかない人生を最高に生きるために(その1) -

- 「生き甲斐」はいまこの一瞬を賢明に生きることから生まれる！ -

人生は巨大な「反響室」に似ている。あなたが心の中で思っているイメージはそのまま外に現れる。もしあなたが、自分は必ず成功する人間だと、しっかりイメージングすれば、やがてはそうなる。反対に、失敗すると思えば、どこへ行っても挫折がつきまとう。自分が貧しいと思おうが、豊かだと思おうが、予想通りの結果になるのだ。宇宙は巨大な反響室のようなものだ。いずれは自分の発した音が戻ってくる。怒りや苦しみの種を蒔けば同じものを刈り取らねばならない。

どうすれば、いつも強く落ち着いて、自信に満ちたセルフ・イメージを持っていられるのだろうか？
答えは二つある。一つはセルフ・イメージを強めるような行動をすること。もう一つはそれを損なうような行いを避けることだ。

後者から検討してみよう。人間から自尊心を奪うおぞましい感情が3つある。それは不安と罪悪感と疑いだ。このどれかに支配されるとセルフ・イメージは損なわれてしまう。どうすればその悪影響をなくすることができるだろうか・・・。

「ハンマーは、ガラスは砕くが、鋼鉄は鍛える！」

不安に打ちのめされ、自信を失い、消極的になり、立ち向かう勇気がなくなってしまうものだ。しかし、同じ試練に直面してもくじけない人もいる。彼らは試練を克服し一層強い人間に成長する。不安をコントロールする秘訣はただ一つ「信じる」ことだ。完全な信頼は、人間の理解を超えた結果をもたらすことさえあるのだ。他人を信じるのが信頼につながり、自分を信じるのが自信につながる。ガラスではなく、鋼鉄の人間になるのだ！

- 強運を呼び込む「信念」の魔術 -

セルフイメージを強めるためには「信念」を持つことだ。信念があれば、人生に怖いものなど一つもなくなる。信念の生活では、常識では考えられないことがよく起こる。法華経の第14品に次のような文章がある。

「刀杖も加えず、毒も害すること能わじ」

刀を持って日蓮に切り掛かった人は多いが、一人として日蓮を殺すことはできなかった。

信仰心に裏付けされた信念があれば、さらに偉大な力を発揮できるのである。信仰とは、宗教団体に入信することではない。自分自身の心の礎 - 自分を信じ、愛し、自分自身に問いかけ、自分の心の中に答えを求め続けることに他ならない。

<MIKO>

☞ 参考文献：人間向上の知恵 ノーマンピール（謝世輝訳）三笠書房